

平成21年度「特色ある高校づくりのための学校独自プラン」

香川県立三豊工業高等学校

観 点	職業観育成
名 称 目 標 取組み の概要	(名 称)「 高度熟練技能者へのチャレンジ 」 － 熟練技能の伝承と人材育成 －
	(目 標) 地域の高度熟練技能者を活用したり、「人に役に立つものづくり」等を積極的に進めたりすることにより、地域の将来を担う生徒の「心・技・体」の充実を図る。
	(取組みの概要) 工業の熟練技能の伝承と人材育成に向けて、地域の熟練技能者の積極的に活用し、「匠の技」講習会や生徒の技術指導を実施する。その中で、「人に役に立つものづくり」を進め、ものづくりの意義や喜びを正しく理解させるようにする。
	また、技能士の資格や高校生ものづくりコンテストに挑戦し、熟練技能者を育成する試みを進める。 加えて、本校独自のサイエンスフェスタ2009の実施や、地域のイベントへの積極参加、三豊工だよりでの地域への情報発信を進めて、地域のものづくり人材育成を図っていく。
取組み の詳細	- 高度熟練技能「匠の技」講習会 生徒・教員・地域の人参加者を対象に、機械加工・電子技術などについて実施する。(7月～) - 熟練技能者を活用した「人に役に立つものづくり」挑戦 センサ付車椅子電動牽引車、車椅子乗ったまま体重計の製作 (5月～8月) 多センサ自立型相撲ロボットの製作 (5月～8月) 2・3級技能士への挑戦 高度熟練技能者の指導により、一層の取組を図っていく。(5月～) 「電子技術ものづくりコンテスト」への香川県初の挑戦 高校生ものづくりコンテスト電子回路部門に、高度熟練技能者の指導を活用し、県内の工業高校で初挑戦する。(4月～) - 将来の科学技術者の人材育成 サイエンスフェスタ2009の開催 (11月) 地域の幼・小・中学生や保護者250名以上の参加者をめざす。 - 地域ものづくり貢献「飛び出せ三豊工」 観音寺市の福祉祭、水道週間等の地域のイベントに参加する。(7月、11月) 「三豊工だより」を地域の小・中学校や企業等に広く配布 (毎月) - ものづくり展示コーナーの充実 来訪者に本校のものづくりの取組について紹介する展示コーナーの整備、充実を図る。 本校生徒が「実習」「課題研究」等で製作した作品を保護者や学校関係者等に公開する作品展示会を実施する。(2月)

特色ある高校づくりのための学校独自プラン

1 年間の取組み

名称	「高度熟練技能者へのチャレンジ」 — 熟練技能の伝承と人材育成 —
目 標 ねらい	地域の高度熟練技能者を活用した技能士の養成や、「人に役立つものづくり」等を積極的に推し進めることにより、ものづくり技術の向上を図ると共に、地域の子供たちの科学技術やものづくりへの興味・関心を高める。
取組み の 概 要	1 各種技能士（機械加工、機械検査、電子機器組立）の養成（取組み 1） 生徒や教員を対象とした高度熟練技能士による技術指導 2 人に役立つものづくり（取組み 2） 車椅子体重計と車椅子補助装置等の製作 3 サイエンスフェスタ2009の開催（取組み 3） 地域の子供たちに科学やものづくり体験の実施 4 地域イベントへの協力 観音寺市の福祉祭りや、公民館ふれあい理科講座等に参加 5 ものづくり展示コーナーの充実 保護者や来校者に対して、本校生徒の製作作品や各種ものづくり競技大会の成果を展示するコーナーの充実

取組み 1

名称	各種技能士の養成	工 夫 した点	本校教員の指導だけでなく、職業能力開発協会の協力を受け、一般企業で活躍されている講師を招聘し、レベル向上を目指した。
実施内容	実技講習会の実施		
 機械加工技能士旋盤作業		成果	多数の技能士が誕生した。 3級機械加工(フライス盤) 2名合格 3級機械加工(旋盤) 7名合格 2級機械加工(旋盤) 2名合格 3級電子機器組立 4名合格 (3級機械検査 8名受験中)
		課題	技能士の育成には、実技作業に要する各種の工作機械や工具の保守、材料代、部品代等多額の費用が必要である。このため予算確保に苦慮している。
対 象	機械科2・3年生 22名 電子科2年生 4名		
実施時期	4月～2月		

取組み 2

名称	人に役立つものづくり		工夫した点	両装置ともに車椅子に乗っている生徒に恐怖感を与えないよう、自然な動きで装着できるように工夫した。
実施内容	車椅子体重計と車椅子補助装置の製作			
 車椅子体重計  車椅子補助装置			成果	車椅子体重計は、12月に香川西部養護学校で評価してもらい、概ね良好であった。2月に贈呈する予定である。車椅子補助装置は既に2台贈呈済みで今回は3号機となるがより使い勝手を良くしている。
対 象	電子科3年生 7名 機械科3年生 4名			
実施時期	4月～1月		課題	両装置ともに定期的なメンテナンスが必要であり、ものづくりを通した学校間交流を継続していく必要がある。

取組み 3

名称	サイエンスフェスタ2009		工夫した点	1ヶ所の所要時間25分程度で、確実に楽しく、そして達成感をもてる「ものづくり」の教材選びと運営方法に工夫を加えた。
実施内容	工業3科と理科の4科によるものづくり教室、及びメカトロ部のロボット競技の実演と体験			
			成果	三豊工業高校の、様々な「ものづくり」における取組状況や実績を地域の子供や保護者にアピールできた。本校生徒も、補助員として携わることにより、自尊感情を高めることができた。
科学体験 ものづくり体験				
対 象	近隣幼小中の子供たちと保護者 約250名		課題	放課後の行事で、本校の参加生徒は、全校生の3分の1程度で、開催の成果を全生徒で共有するところまでには至っていない。幼稚園や小学校低学年の参加者が主で、中学生の参加が少ない。
実施時期	11月21日（土）			